



完成した海苔加工施設3号棟

4/14 海苔養殖業のさらなる発展に向けて (株)ARC海苔加工施設3号棟完成

株式会社ARC（南鉦得代表取締役）は、海苔加工施設3号棟の完成に伴い、落成式を行いました。

同社は、平成28年度に1号棟、令和元年度には2号棟を建設しており、今回、町の花苔養殖業のさらなる発展に向けて、国の補助事業を活用し3号棟を建設しました。

1号棟および2号棟の運用から新規就業や規模拡大の効果も出てきており、今後、3号棟を活用し、海苔生産の分業化や作業効率の向上による労働力・コストが削減され、海苔生産者の増産や所得の向上が期待されます。



そらいろのタネのスタッフの皆さん

4/1 社会福祉法人濱友会の新たな事業所 「そらいろのタネ」が開所しました

社会福祉法人濱友会（濱田悍理事長）の新しい児童発達支援などの事業所「そらいろのタネ」が開所しました。

この施設では、子どもたちの「できる」を伸ばし、子どもたちやその家族が安心して日々の生活ができるようサポートを行うため、児童発達支援や放課後等デイサービスが実施されます。



表彰状を授与した菅原悟志理事長（左から2人目）

5/18 町B&G海洋センターの取り組みが評価 10年連続「特A評価」を受賞しました

町は、公益財団法人B&G財団（前田康吉会長）から10年連続「特A評価」による表彰状を受賞しました。

これは、全国466カ所に所在するB&G海洋センターのうち、利用人数や施設の維持管理などで特に優れた海洋センターを認定する「特A評価」を、本町の海洋センターが10年連続で獲得したことを評価され、表彰されたものです。

中逸博光町長は、「今後も青少年の健全育成やスポーツ振興および地域住民の健康づくりの拠点として、子どもから大人まで幅広く親しまれる施設を目指してまいります」と述べました。



災害廃棄物の処理に従事した職員

4/19 災害廃棄物処理の支援活動に対して 町が環境大臣表彰を受賞

町は、環境省（小泉進次郎環境大臣）から、災害廃棄物の処理に関する支援活動に対して表彰状を受賞しました。

これは、昨年7月に発生した豪雨において、福岡県大牟田市の災害ごみ仮置き場に、町職員を派遣するなど、積極的な支援活動を行ったことに対して贈られたものです。

中逸博光町長は、「災害はどこで発生するかわからない。これからも、友好都市や近隣の災害などに手助けを行っていききたい」と話しました。